南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校
校長　金 誠一郎
〒177-0035
練馬区南田中 4-8-23
TEL 03-3904-5782
URL https://www.nerima- tky.ed.jp/minamigaoka-j/

令和８年度 第９号 令和８年11月10日発行

文化発表会を振り返って

音楽科　元紺谷　めぐみ

今年もインフルエンザに振り回された合唱コンクールでした。２年Ａ組の学級閉鎖、２年生学年閉鎖に始まり、３年Ｃ組、１年Ａ組と学級閉鎖が続き、本来の開催予定を一週間遅らせての開催となりました。今回のインフルエンザは、治ったあともしばらく喉の痛みが残るようで、本調子ではない中、本番を迎えた生徒も多かったようです。当日も、残念ながら指揮者がインフルエンザで欠席というクラスも出ましたが、昨年の学年ごとの開催とは違い、ようやく全学年揃っての合唱コンクールとなりました。以下、学年ごとに様子を少し紹介します。

１年生は、人生初の合唱コンクールでした。クラスの生徒の中から指揮者・伴奏者が出るということにも驚き、すべてが初めてのことだらけで戸惑いもあったようですが、一生懸命に取り組みました。どのクラスも女子と変声期前のボーイソプラノの男子が、響きのある高音を歌いました。変声期後の男子で構成されるテノールは、クラスの曲によっては４人という少ない人数でしたが、低音を響かせられるように頑張りました。全体としては特に、課題曲「夏の日の贈りもの」のクレッシェンド、だんだん大きくという記号のところを、指揮者の合図に合わせて、とても上手にクラス全員で盛り上げました。

２年生は、一番人数の少ない学年ですが、それを感じさせないくらい、圧倒的なパワーのある合唱を披露しました。後日、１年生から「次元が違った」「ボリュームがすごい」と言われるほどでした。本来、女子だけだとソプラノ６人･アルト６人で男子が全員テノールだと 24 人と非常にバランスの悪い学年ですが、まだ数人いる高音を出せる男子はソプラノ･アルトを担当し男女で高音の響きを、変声期の落ち着いてきた男子でテノールらしい低音を、体を使ってうまく響かせての合唱を披露しました。今年の課題曲「明日へ」は、生き生きとした曲ですが、それを、2 年生らしい勢いのあるパワフルな曲に、かつ強弱等の曲想もしっかり付けた合唱に作り上げました。

３年生は、ほぼほぼ変声期が終わり、ソプラノ６人・アルト６人・テノール 16 人くらいとバランスの悪い状態でしたが、メロディが常に目立つようにパートバランスを考えながら、かつ１・２年の曲よりたくさん出てくる強弱記号も表現する合唱を頑張りました。特に自由曲は、3 クラスで全く違う感じの曲を選曲し、Ａ組はアカペラ（無伴奏）で手拍子も入る曲を、Ｂ組は 3･11 の際に生まれた曲を、Ｃ組は今年度唯一のソリ（複数でソロを担当すること）の入る曲を、それぞれその曲の曲想に合った合唱を追求して本番に披露しました。クラスの個性を自由曲で垣間見ることができ、鑑賞していて非常に面白く、わくわくする合唱を披露しました。

合唱コンクールでは、コンクール形式なのでどうしても賞がついてしまいますが、どのクラスも、一致団結して良い合唱を響かせていました。実行委員・指揮者・伴奏者・パートリーダーという生徒が中心となって、生徒の手で作り上げる素晴らしい行事だったと思います。

当日は、Ｅ組のすてきな合唱と合奏で、元気にオープニングを飾ってくれました。午後は、海外派遣報告と吹奏楽部の演奏で、海外派遣報告は、日本の紹介で夏祭りなど踊る「炭坑節」英語 ver. を全校生徒で踊ったりと会場を盛り上げ、吹奏楽部は、演奏だけでなく踊りを入れたり、ソロで演奏したりと、会場も一緒に踊り出す生徒も出てと盛り上がり、大トリにふさわしい発表でした。
音楽を楽しんだ芸術の秋の一日となりました。

● 令和8年度 文化発表会 10/16 金 ●



感染症による延期により、令和８年度文化発表会が１０月１６日（金）に開催されました。期日延期にもかかわらず、多くの保護者の皆さまのご参観をいただきまして、誠にありがとうございました。

スタートは弾ける笑顔とリズムの「E組の合唱・合奏」が披露され、大きな拍手に包まれました。続いて各学年の部の「合唱コンクール」が行われました。感染症流行など困難もありましたが、各クラスが独自の工夫と努力で積み見上げてきた練習の成果が、美しいハーモニーに乗せられた渾身のメッセージと音楽に結実して、体育館の窓ガラスを震わせ、会場に響き渡りました。

「海外派遣の発表」では、オーストラリアの雄大な自然と文化に、海を越えて飛び込んだ派遣生が自ら学びつかみ取ってきた成果を、会場にいる全員がリアルに体験し共有することができました。そして最後を飾ったのは「吹奏楽部発表」、華やかで迫力あるサウンドが大フィナーレを力強く彩って割れる様な拍手の中、今年度の文化発表会が幕を閉じました。














☆実行委員会・選曲委員・指揮者・伴奏者・パートリーダー・演奏者（歌い手）☆

夏前から取り組みが始まった実行委員を中心に、各学年や各部署で、クラスの様子や進み具合をにらみながら厳しい練習期間自分の役割を果たしたリーダーたち、これに応え練習に汗を流しついには楽曲を仕上げた歌い手たち。当日の舞台には、有形・無形のたくさんの人の思いと努力が結晶となった「文化・芸術」が確かにそこに在りました。全プログラムを担った芸術家たちに大きな拍手を送ります！

♠ 学校評価アンケート

今年度の南が丘中学校の教育活動を振り返り次年度以降への指針とする貴重なデータとして「学校評価アンケート」のご協力をお願いしております。回答期限は１１月１６日（月）です。ご協力くださいますようお願い申しあげます。

□ 三者面談（全学年対象）

１１月３０日（月）から１２月４日（金）まで全学年対象に「三者面談」が予定されています。１、２年生は２学期の生活や学習の状況を中心に、３年生は進路に向けた相談を中心にご家庭と学校でお子様の様子や情報を共有しその成長を見守る大切な機会となります。ご多用中とは存じますが、よろしくお願いいたします。